

PRESS RELEASE

【和歌山県内初】北山村100%出資「(株)じゃばらいず北山」 第14回「食品産業もったいない大賞」農林水産大臣賞を受賞

北山村が100%出資する株式会社じゃばらいず北山（本社：和歌山県東牟婁郡北山村、代表取締役：池上輝幸）が、このたび第14回「食品産業もったいない大賞」において、じゃばらの搾汁後に残る果皮・残渣を、商品・食品原料・飼料などへ活用する取組が評価され、同賞の最高賞である「農林水産大臣賞」を受賞しました。和歌山県内の事業者による同賞の受賞は、今回が初めてとなります。

じゃばらいず北山では、搾汁後に残るじゃばら果皮の活用先を複数つくることで、毎年発生する搾汁後残渣を継続的に活用できる仕組みを構築しています。令和7年には、年間約60トンの搾汁後残渣を商品や食品原料、飼料などに活用しました。

今回の受賞につながった取り組みを象徴する商品の一つが、「噂のどろぼん」です。じゃばらぼん酢を製造する過程で発生する果皮ペーストは、どうしても使い切れず、これまでは廃棄せざるを得ませんでした。そこで、この“もったいない”を新たな価値へと変えるため、果皮ならではの風味と具材感に着目。一般的な「かける」ぼん酢ではなく、食材に「のせて食べる」新発想・新感覚のぼん酢として商品化したのが「噂のどろぼん」です。

じゃばらいず北山では、単なる廃棄物削減にとどまらず、新商品の開発や原料等への活用拡大によってじゃばらの新たな価値を生み出すことで、「北山村産じゃばら」のブランド価値向上を図っています。これらの取り組みによる同社の売上高アップによって、村内農家が大切に育てたじゃばらの「全量買い取り」を維持するとともに、村へ防災用品や福祉用品の寄付などを通じて地域社会にも貢献しています。

【関係リンク】

株式会社じゃばらいず北山プレスリリース

<https://prtmes.jp/main/html/rd/p/000000027.000071485.html>

農林水産省HP

<https://www.maff.go.jp/j/press/shokuhin/recycle/260929.html>



報道関係の方からのお問い合わせ先



北山村役場企画振興課 柳原

電話番号：0735-49-2331

住所：〒647-1603 和歌山県東牟婁郡北山村大沼42

メールアドレス：kikaku@vill.kitayama.lg.jp